

2018-2019 RIテーマ



インスピレーションになるう

創立/1954年(昭和29年)6月30日
事務局/〒915-8522 越前市塚町101 武生商工会館内
TEL.0778-23-5210・FAX.0778-22-2333 E-mail:takefurc@es.ttn.ne.jp

TAKEFU WEEKLY



Rotary Club of Takefu

例会日/毎週火曜日
会長/田中大成

例会場/武生商工会館
幹事/三田村久光
会報委員長/塩田憲康

第3128回 例会記録 令和元年5月28日(火)

本日出席会員31名

メイクアップ(前々回)6名

出席率(前々回補正)78.0%

ロータリーソング「それでこそロータリー」

ゲスト 越前市長 奈良俊幸氏

北陸電力(株)福井支店営業部 副課長 藤坂明雄氏

北陸電力(株)丹南支店 藤岡大介氏

会員総数
52名

会長挨拶 第65代会長 田中大成



今日はRYLAの発表に北陸電力(株)丹南支店の藤岡大介様、藤坂明雄様に来ていただいておられます。また、後ほど、越前市体育館前に寄贈させていただいた、電波時計贈呈式をさせていただきます。奈良市長、お忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。

先週から今週にかけて三つの会議の総会に出席してきました。24日に開催された越前市友好都市推進協議会と、26日の越前市国際交流協会、27日越前市特急・新幹線対策促進期成同盟会です。友好都市推進協議会では、越前市の友好都市は、高山と本巣だけだと思いましたが、その他に、豊岡市、七尾市、高岡市、宇治市、三条市が、都市連携協定締結都市として、友好都市親善事業の助成金対象となっています。国際交流協会では、外国人の子供たちへの夏休み宿題サポート事業とか、日本語教室の開催を年間866回開催したとの報告がありました。越前市特急・新幹線対策促進期成同盟会では、新幹線開通後の並行在来線についての話もありました。色々勉強になった一週間でした。



プログラム

RYLA受講報告 北陸電力(株)丹南支店 藤岡大介氏

5/17～19、滋賀の近江八幡にてRYLAの研修を受け



で参りました。今回、私が参加したプログラムは講義とプレゼンテーションを主とし、グループでのチームワーク力を磨くものでした。研修はグループに分かれて、顔合わせをすることから始まり、講義やBBQ、近江八幡の散策、グループ発表で終わりました。

1日目の講義は2つあり、「子供が守られる社会」と「AI時代にリーダーがしなければならないこと」というテーマでした。1つ目の講義では、核家族社会が広がる中での、児童虐待に関する内容でした。講義自体は政府がより予算や人手を増やし、カバーすべきだという流れでしたが、私は、現代の子育ての方法は私たち若者も自分事として、考え、行動すべきだという印象を受けました。2つ目の講義では、時代の求める能力が、学ぶことから考えることにシフトしているという内容でした。講義の中心はその考え方によるもので、論理的に考え、たくさんのアイデアを持ち、徐々に考えられる範囲を広めていくことが成功の鍵となることでした。私自身、考えることの本質について、深く考えたことは無く、前例をなぞるばかりではなく、打ち破っていくべきだと感じました。

2日目も同様に2つの講義があり、テーマは「フェイクニュースにだまされるな」と「真のリーダーシップ」でした。一つ目の講義ではSNSの発達により、より情報の真偽が問われる時代だという内容であり、情報の真偽を見極める人がいないからこそ、自分たちで判断していかなければならないことでした。実際私自身SNSをよく使いますが、すべてが正しい情報だと無意識のうちに認識してしまう自分がいました。自身が情報の受信者であり、発信者でもある現代だからこそ、情報というものとして上手に付き合っていく必要性にかられたことが印象的です。2つ目の講義では地域復興を通じて培ってきたリーダーシップに関する内容でした。講師の方は、リーダーシップを発揮する要素について、多くの項目を語られました。まず始めなければならないことは行動することでした。前3つの講義では考えることを主体とした講義でしたが、この講義では行動するというある種、勇気に関わる内容であり、弱い自分に打ち勝つという

面でも、とても大切なことを再認識させて頂きました。

3日目はこれらの講義を受けてのグループ発表でした。私達のグループでは「前例を打ち破りたい」という講義での学びをテーマに発表を行いました。他班が講義のまとめを行う中、私達は他班とは違った新しいものを作り出すことに挑戦しました。内容ではなく、チームで前例を打ち破りに行けたことはこの研修のなかでも、最も貴重な経験であったと思います。

私はこの研修を通して、「考え」て、「実行」することの大切さを学びました。学ぶから考えるへ。人生の先輩方の経験だけでなく、平成、令和を生き抜く私達だからこそその価値観を大切にすべきだと感じました。私はこの先の社会人としての人生、かの有名な数学者が言ったように、「考える輩」として、精進していきたいと思っています。

炉辺会合報告

【4班】日時：5月7日 18:00～ 場所：うおとめ

責任者：玉村一男 発表者：西藤浩一

参加者：石川満夫、倉橋孝治、三田村士郎、

西本久美子、前田栄二



5月1日に元号が変わり「令和」となった。この時代の節目に際し、これからの展望について、クラブの今後も含めて各人の思いを述べてもらった。

M: 平成のスタートは自粛ムードで暗い感じもあったが、今回は違った。自分は昭和生まれだが、家族と話す昭和のにおいがするといわれる。物は豊かになり便利になってきたが、失ってきたものもあるのかなと感じる。令和の時代は人口減少と人手不足が浮き出てくるように思う。

N: 平成に変わったとき小学6年生。天皇崩御で喪章をしたのを記憶している。平成はバブルもあり、今に比べれば浮かれた時期もあった。若い人たちが細かく繊細なもの見方になってきて、価値観もシビアな時代になってきた。現在は人手不足により、店の板場も二人でこなし、学生アルバイトで対処している。これからも人手の確保が気になる場所です。

T: 昭和の初めの20年は戦争もあり大変な時代と思う。平成スタートしてからの20年はわかりやすかったとも思う。我々は団塊の世代として世の中を支えてきたが、支えきれない時代になってきている。そして、令和の時代は日本にとって大変な時代に入ってきた。アジアでも世界でも日本は苦勞し始めている。先進国の流れに沿ってこれからいろんな局面が出てくるだろう。

そんな中で日本は「タフ」さがないようにも感じる。

I: 世の中を斜めに見る癖を持っている世代である。

昭和62年に和紙組合の理事長になり、明けて昭和63年の新年会で所信を述べる予定が、大喪の礼で新年会をとりやめ名刺交換会だけを行った記憶がある。平成になったとき、それを機に大瀧神社の歴史の再検証をして復興につなげてきた。令和になった今もう一度周りを真剣に見直していくことも大事ではないかと思う。

K: 自分も団塊の世代で数は多い。平成に入ってからロータリーのメンバーになり25年たったなとつくづく思う。キャッシュレスの時代を迎えているが、紙幣印刷機は福井市出身である小森コーポレーションの技術。令和の時代は福井をもっと宣伝してもよいと思う。

M: 自分は平成になったときにロータリーの交換学生でアメリカに1年滞在した。令和に入ったが、子供の数が減ってきている。自分の時の東小は40人×4クラスであったが、現在20人×2クラス。この先どうなっていくのかなと思う。人手不足で現在4人の内モンゴルから来た外国人留学生を雇用している。10連休も1日休んだだけとなった。これからさらに深刻になるのかも。コンビニや、スーパーも無人化になっていくのかなと。

●令和時代を迎え、メンバーそれぞれが昭和あるいは平成の時代を振り返った感がした。新時代のスタートにあたり、大きな期待というよりは、世界の中の日本の位置づけや人口減や人手不足、AI対応など、やや不安に感じながらの幕開けというまとめとなった。

ニコニコ箱 …… 19,000円 累計 1,495,000円

- ・藤岡さん、ライラの報告よろしくお願いします 【田中大成】【三村昌之】【三田村久光】【橋本勝利】
- ・奈良市長様よろしくお願いします。 【奥村 忠】【宮前貴司】
- ・会長幹事様、国際大会参加本当にご苦勞様です。 【田中 茂】
- ・ちょっと 【井上常宏】
- ・本日遅刻しました。 【宇野賢治】
- ・先日の亡き父の葬儀に際しましては、皆様ありがとうございました。 【西野昌美】
- ・本日欠席しますが、藤岡の発表を温かい目で見てやって下さい。 【奥村 充】
- ・今日もニコニコありがとうございます。 【今村清孝】

例会変更情報/福井県内ビジター受付(6月12日～6月25日)

6月17日 福井東RC 12:00～12:30 アオッサ1階入口

6月25日 福井南RC 12:00～12:30 織協ビル正面玄関

*変更の無い各クラブの定例会については、ロータリーの友ホームページ等にてご確認ください。

本日(6月11日)の例会 第一例会行事 ゲスト卓話 福井RC 長谷美左子氏	6月18日 新入会員卓話 藤本幸紀会員	6月25日 最終例会 米寿お祝い	7月2日 第一例会行事 新年度挨拶
---	---------------------------	------------------------	-------------------------